

環境配慮行動が企業価値に与える影響

三川 敦[†]
藤岡 照夫
塚原 一郎
古市 雄一郎
久松 太郎

概要

本研究では、企業が環境保全のために行う環境配慮行動が企業価値に与える影響について検討を行った。本研究の特徴は、先行研究において必ずしも重視されてこなかった会計情報や景気動向を株価の説明要因として用いていることにある。企業が合理的な行動を取っているならば、企業の環境配慮行動は企業価値の向上に影響を与えているはずである。それを調べるために、株価を企業価値の代位変数とし、会計情報、景気動向等の要因、および、環境の要素を説明変数としたモデルを作成した。その結果、「企業の環境配慮行動は株価説明能力を有する要因である」という仮説、「環境配慮型企業の企業価値はそうでない企業よりも高い」という仮説はともに支持された。このことは、わが国の証券市場においては、企業の環境配慮行動が企業価値向上のポジティブなファクターとして評価されている可能性があることを示している。

JEL classification codes: Q59, G14

Keywords: 環境投資、企業の環境配慮行動、株価決定要因

[†] 福山大学経済学部経済学科 E-mail: mitukawa@fuec.fukuyama-u.ac.jp